



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】ワンポイント解説⑨

日経平均は一横綱三関脇で 3割近くを占める指標

この番組の最終週は皆様の投資やトレードに役立ちそうな**知る人ぞ知るOP関連情報**について紹介していきます！



OP売坊

©2019-2025 OP売坊

日経平均とは

日経平均株価（略称「日経平均」「日経225」、英語名「Nikkei Average」「Nikkei 225」）とは東京証券取引所プライム市場に上場する銘柄から業種のバランスを取りながら流動性が高い225銘柄を日本経済新聞社が選定し、それらの株価をもとに算出・公表している日本を代表する株価指標。

公式サイト「日経平均プロフィール」 <https://indexes.nikkei.co.jp/nkave>

沿革

- 1949年 東京証券取引所が株式市場を再開（5月16日）
- 1950年 東京証券取引所が「東証修正平均株価」の公表を開始
- 1971年 日本短波放送（現・日経ラジオ社）が引き継ぎ「NSB225種修正平均」に改名して公表
- 1975年 日本経済新聞社に移行して「日経ダウ平均株価」として公表
- 1985年 「日経平均株価」に名称変更
- 1988年 大阪証券取引所が日経平均を対象にした日経225先物を上場
- 1989年 大阪証券取引所が日経平均を対象にした日経225OPを上場
- 2000年 30銘柄を一気に入れ換え → 指標としての連続性に疑問が
- 2005年 算出方式を「ダウ方式」から「みなし額面方式」に変更
ファーストリテイリング（9983）を新規採用（8月26日）
- 2021年 算出方式を「みなし額面方式」から「株価換算係数方式」に変更
- 2022年 採用銘柄の定期見直し（入れ替え）を春秋年2回（各上限3銘柄）に
一定の構成比率を超えた銘柄の比重を軽くする「ウェイトキャップ」を導入

日経平均の算出方式

2021年10月1日より株価換算係数方式で算出

$$\text{日経平均} = \frac{\text{225銘柄の採用株価合計}}{\text{除数}}$$

採用株価とは

2021年10月以降、日経平均に新規採用した銘柄の株価水準が著しく高い場合、組み入れ時の構成比率が1%以内になるよう**株価換算係数**（0.1～0.9）を設定。また、既存の採用銘柄については、10月1日時点の「みなし額面」から株価換算係数を設定。各銘柄の株価換算係数を株価に乗じて「**採用株価**」とし、それらを合計したものを除数で割って日経平均を算出する。株価換算係数は株式分割など相場変動以外の影響を取り除くため調整されることがある。

みなし額面とは

2021年9月までは、各225銘柄の株価を額面50 円の水準に調整する「みなし額面」に換算していた（株式の額面自体は2001年の商法改正で廃止）。

除数とは

単なる銘柄数（225）ではなく、銘柄入れ替え、株式分割・併合、ウェートキャップ（後述）の設定・変更・解除など、特別な事象が発生した場合、分母の「除数」を修正することで連続性を維持している。

日経平均はますます数銘柄に偏る指数に

日経平均の構成比率上位10銘柄（2021年12月～2024年9月）

	2021年12月		2022年3月		2022年6月		2022年9月		2022年12月		2023年3月	
1	東京エレクトロ	8.12%	東京エレクトロ	8.01%	ファストリ	9.46%	ファストリ	10.31%	ファストリ	10.57%	ファストリ	10.58%
2	ファストリ	8.00%	ファストリ	7.98%	東京エレクトロ	5.90%	東京エレクトロ	4.80%	東京エレクトロ	5.10%	東京エレクトロ	5.88%
3	SBG	3.99%	SBG	4.23%	SBG	4.18%	SBG	3.95%	SBG	4.44%	SBG	3.80%
4	ダイキン	3.20%	KDDI	3.04%	KDDI	3.43%	KDDI	3.42%	KDDI	3.14%	KDDI	3.00%
5	ファナック	2.99%	ダイキン	2.84%	ダイキン	2.90%	ダイキン	3.00%	ダイキン	2.65%	アドテスト	2.97%
6	アドテスト	2.67%	ファナック	2.74%	ファナック	2.83%	ファナック	2.72%	ファナック	2.60%	ファナック	2.91%
7	リクルート	2.56%	アドテスト	2.45%	テルモ	2.18%	テルモ	2.19%	アドテスト	2.23%	ダイキン	2.89%
8	KDDI	2.47%	信越化学	2.38%	信越化学	2.04%	信越化学	1.96%	信越化学	2.13%	信越化学	2.61%
9	信越化学	2.44%	リクルート	2.06%	アドテスト	1.93%	アドテスト	1.93%	テルモ	1.97%	第一三共	1.77%
10	テルモ	2.38%	テルモ	1.89%	京セラ	1.93%	京セラ	1.80%	京セラ	1.72%	テルモ	1.75%
上位10銘柄合計		38.83%		37.62%		36.78%		36.07%		36.54%		38.14%
上位4銘柄合計		23.32%		23.26%		22.98%		22.48%		23.25%		23.25%

	2023年6月		2023年9月		2023年12月		2024年3月		2024年6月		2024年9月	
1	ファストリ	11.25%	ファストリ	10.40%	ファストリ	10.45%	ファストリ	11.67%	ファストリ	10.05%	ファストリ	12.26%
2	東京エレクトロ	6.30%	東京エレクトロ	6.52%	東京エレクトロ	7.54%	東京エレクトロ	9.79%	東京エレクトロ	8.65%	東京エレクトロ	6.54%
3	SBG	4.15%	SBG	4.04%	アドテスト	3.82%	アドテスト	4.50%	SBG	5.15%	アドテスト	4.65%
4	アドテスト	3.91%	アドテスト	3.56%	SBG	3.76%	SBG	4.44%	アドテスト	4.25%	SBG	4.36%
5	ダイキン	2.99%	KDDI	2.92%	信越化学	2.94%	信越化学	2.72%	信越化学	2.58%	信越化学	2.58%
6	KDDI	2.73%	ダイキン	2.50%	KDDI	2.68%	KDDI	2.22%	TDK	2.44%	KDDI	2.38%
7	ファナック	2.57%	信越化学	2.31%	ダイキン	2.29%	TDK	1.85%	リクルート	2.13%	TDK	2.36%
8	信越化学	2.43%	ファナック	2.07%	ファナック	2.06%	テルモ	1.80%	KDDI	2.11%	リクルート	2.25%
9	テルモ	1.86%	TDK	1.77%	TDK	2.01%	ファナック	1.73%	ダイキン	1.85%	テルモ	1.86%
10	TDK	1.71%	テルモ	1.69%	テルモ	1.84%	ダイキン	1.70%	ファナック	1.82%	ファナック	1.81%
上位10銘柄合計		39.89%		37.78%		39.38%		42.41%		41.02%		41.04%
上位4銘柄合計		25.61%		24.53%		25.56%		30.40%		28.09%		27.81%

日経平均の4大構成銘柄

	2024年12月	
1	ファストリ	11.98%
2	アドテスト	6.06%
3	東京エレクトロン	5.98%
4	SBG	4.54%
5	リクルート	2.76%
6	TDK	2.56%
7	KDDI	2.49%
8	信越化学	2.18%
9	テルモ	2.02%
10	中外製薬	1.73%
上位10銘柄合計		42.31%
上位4銘柄合計		28.56%

ファーストリテイリング (9983)

- 日経平均に最大の影響度をもつ銘柄
- 同社株1000円の変動で日経平均100円の変動（2025年1月現在）
- 海外売上比率は59%（2024年8月）
- 中国・東南アジアが成長のカギ、ウイグル綿問題など懸念材料もあり

アドバンテスト (6857)

- 半導体検査装置で世界大手
- 海外売上比率は96%（2024年3月）
- AI半導体需要急増

東京エレクトロン (8035)

- 半導体製造装置で世界第3位
- 海外売上比率は90%（2024年3月）
- 中国向け販売に一服感も

ソフトバンクグループ = SBG (9984)

- 実態は投資ファンド
- 投資先の株価動向によってEPS（1株当たり利益≒業績）が大きく変わるため不透明
- 5000億ドルの米国投資を発表するも、イーロン・マスク氏は疑問視

日経平均は不連続な指数

採用銘柄を定期的に見直し

構成銘柄の市場代表制を保つため、年2回、4月と10月の第1営業日を「適用日」として0～3銘柄を入れ替えている。見直しの「基準日」は、それぞれ1月末と7月末。なお、1950年から採用され続けているのは2016年5月末時点で92社とのこと（合併や共同持ち株会社化、テクニカルな理由による一時除外も含む）。

ウェートキャップとは

基準日の時点で構成比率10%（キャップ水準）を超えていた銘柄があれば、適用日には株価換算係数に0.9の「キャップ調整比率」を乗じて、採用株価の調整を行う。

キャップ調整済み株価換算係数 = 株価換算係数 × キャップ調整比率

※切り捨てで小数点以下第1位まで

すでにキャップ調整比率が設定されている場合は、同比率をさらに0.1引き下げる。

例えば、2024年7月末、ファーストリテイリングの構成比率がキャップ水準の10%を超えていたため、同社の株価換算係数「3.0」が2024年10月1日以降、0.9の「キャップ調整比率」を乗じた「2.7」に変更された。



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- ・ 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - ・ 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - ・ 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起これるの、なぜですか？
 - ・ 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - ・ 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

お気軽にご登録ください！



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2025 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用了た図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



OP売坊の『オプション倶楽部TV (OPCTV) 』

水曜22時から YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミアム公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです！

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>